




資料 事業（主催）報告書

2022年12月12日

事業名称	2022年度 技術士試験制度説明会（「地域社会とエンジニア」講師派遣） 共催：日本技術士会中国本部 修習技術者支援委員会、松江高専だんだん技術士会		
開催日時	2022年12月9日（金）14：50～16：20		
開催場所	松江工業高等専門学校 大講義室（図書館棟2階）		
参加人数	講師：会員技術士6名 聴講：機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、 情報工学科、環境・建設工学科 4年生 約200名	CPD	1時間30分
事業内容	<p>1. 経緯 日本技術士会中国本部と松江工業高等専門学校とは「連結・協力協定」を2020年8月15日に締結している。この度、学生へのキャリア教育の一環として、技術士制度の紹介や業務活動等について講演と交流会を行った。</p> <p>2. プログラム及び概要 (1) 「技術士試験制度について」 藤原哲宏（中国本部 修習技術者支援委員長 倫理委員） (2) 「資格取得と技術士資格～技術士資格を取得して良かったこと～」 長原基司（中国本部 修習技術者支援委員 倫理委員 活用促進委員 ほか） (3) 「エンジニアリングデザイン教育と新しい材料学教育（試論）」 川本明人（中国本部 倫理委員 活用促進委員） (4) 「電気と地域と私」 森本聡（中国本部 広報委員 修習技術者支援委員（統括本部委員）） (5) 「技術士との交流（質疑応答）」 田中秀典（中国本部 事業委員 修習技術者支援委員） (6) 「総評・閉会挨拶」 渡部修（中国本部 副本部長 松江高専だんだん技術士会会長）</p> <p>3. 振り返り 昨年度と同様に、今回も中国本部修習技術者支援委員会と松江高専だんだん技術士会との共催で開催した。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も進み、今回は完全対面方式で講演会を開催することができた。技術士と学生の交流会も実施したが、学生からの発言は少なかった。技術士第一次試験への受験意欲も高くなく、建設部門以外の学生への更なる認知度の向上が必要と思われた。 また、学生だけでなく教員に対する働きかけにも工夫が必要であり、引き続き松江高専だんだん技術士会との連携が重要と思慮される。</p>		
	  		
報告者	所属氏名：協同組合広島県土質試験センター 藤原 哲宏 住所：広島市西区田方二丁目 2-29 e-mail：fujiwara@hiroshima-soil.jp		